



		デスクレビュー(フェーズ1検証)の結果に基づき、プロジェクト事業者等に対するヒアリング、記録及び現地確認(フェーズ2検証)を行った。検証ポイントは以下の通りである。 <GHGデータ及び情報> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクト活動に関係するすべての吸収・排出活動</li> <li>・ プロット調査の実施状況</li> <li>・ パラメータの引用</li> <li>・ 活動量データ並びに算定に必要なデータ</li> <li>・ データの集計結果</li> <li>・ 吸収増大量の算定結果</li> </ul> <QA・QC体制> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モニタリング体制及び算定体制</li> <li>・ モニタリング担当者の力量</li> <li>・ データチェックの実施状況</li> <li>・ 計測機器の管理状況</li> </ul>				
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO2	-	-	207	123	-
検証結果の要約		一般財団法人 日本品質保証機構(JQA)は、株式会社サン・クロレラの社有林における森林施業計画区域(釧路町)の森林を対象として、モニタリング期間(2010年4月1日～2011年10月31日)における二酸化炭素吸収増大量を検証した。検証の結果、「オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に基づく温室効果ガス吸収プロジェクトモニタリング報告書 Ver.1.4 釧路湿原におけるサン・クロレラ社有シラカバ林の森林吸収プロジェクト」に記載された二酸化炭素吸収増大量 330 t-CO2は、「オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に基づく温室効果ガス吸収プロジェクト計画書 Ver.1.2」及び「オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に基づく温室効果ガス吸収プロジェクト計画書別紙 モニタリング計画書Ver.1.2」に基づいて算定されており、不確かさ及び誤りの合計値が0 t-CO2(二酸化炭素吸収増大量に対する割合:0%)となり、重要性の判断基準の5%未満であることから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。				

i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。